

世界史 授業 No.83 テーマQ.&A.プリント

1. 今日のテーマ・クエスチョン

西（スペイン）→蘭→英の主役交替とはどういうものか？

2. テーマ・アンサーのキーワードをピックアップ

※教科書該当ページ（P. 134～136）の中から見つけよう！

カルロス1世の退位にともない、ハプスブルク家はスペイン系とオーストリア系にわかれたが、スペインは（ 1 ）のもとで全盛期をむかえた。（1）は1580年からポルトガルの王位も兼ね、その領土は世界各地に広がった。アメリカ大陸やアジア貿易からもたらされる富を手中におさめたスペインは、「太陽のしずまぬ国」とよばれ、（ 2 ）ではオスマン帝国の海軍を破った。

商業の発達した（ 3 ）には、カルヴァン派の新教徒が多かった。この地を支配したスペイン王（1）はカトリックを強制し、旧来からの自治権をうばおうとしたため、諸州の激しい反乱をまねいた。カトリックの多い南部はスペインの支配下にとどまったが、北部7州はオラニエ公ウィレムのもとに抵抗を続け、1581年、（3）連邦共和国（オランダ）として独立を宣言した。

オランダは1602年に東インド会社を設立して東南アジアにまで貿易網を広げるなど、その国力を高めていき、ついに事実上の独立を勝ちとった。首都の（ 4 ）は国際金融の中心となり、17世紀前半にオランダは学芸もさかんな全盛期をむかえた。

イギリスのテューダー朝は、1588年にスペインの無敵艦隊を破った（ 5 ）の時代に絶対王政の盛期をむかえた。強力な王権のもとに国民意識が形成されたイギリスに対して、連邦制のもとで強い中央権力を欠き、その繁栄を（ 6 ）に依存していたオランダは、じょじょにイギリスに圧倒されていった。

<記入欄>

1 () 2 () 3 ()
4 () 5 () 6 ()

3. 今日のテーマ・アンサー（テーマ・クエスチョンの答）確認

※今日のノートに取った内容や2.でピックアップしたキーワードを参考にしよう。

T. Q. 「西（スペイン）→蘭→英の主役交替とはどういうものか？」

T. A.

イギリスは、スペインの〔①〕艦隊（オランダの独立を支援するエリザベス1世に脅しをかけるために派遣された）を〔②〕海戦で破り、オランダの独立を助けるとともに、大西洋の制海権をスペインから奪った。その後、独立に成功したオランダが17世紀前半に全盛を迎えたが、1652年から3回にわたりイギリスはオランダの政治的・経済的な弱み（〔③〕制で中央集権が弱い・〔④〕貿易中心で国内産業が未発達）につけこみ〔⑤〕戦争によってオランダを破った。このようにして主役の座はイギリスに移っていった。

<記入欄>

① [] ② [] ③ []
④ [] ⑤ []

[] 年 [] H No. [] 氏名 []